

左京一条五坊

作寶樓新聞

和銅八年八月

西暦715年8月

氷高内親王9月に即位

6月10日、長年の地元民の願いであった東国への近道が開通した。都祁周辺に点在する氷室への交通も便利になり、今年の夏の氷の消費量は増加すると見込まれる。また交通が便利になることで都祁へ避暑に訪れる貴族や高級官僚が増えることも予想される。長屋王所有の都祁氷室の責任者である火三田次氏による避暑客の増加を見越してすでに春から宮の増築と氷の増産を行っているという。増産された氷は8月から西市の長屋王亭西市店にて販売される予定。

都祁の山道開通

5月14日、詔によると、調・庸の運搬が予定通り行われず、また往々にして雨で損なわれる場合が多い。これは国司の怠慢が原因である。

調・庸の運搬責任は国司に

中務省関係者によると、元明天皇陛下自身の健康不安から9月に譲位する方向で調整に入った。すでに氷高内親王には1月に一品を授けており譲位は時間の問題とみられていた。6月に長親王、7月に穂積親王が薨去したことが心理的に影響しているとみられる。詳細は近々公表されるもよう。

皇族筋からは首皇子の中継ぎの中継ぎを立てることに對する異論が相次いだという。最終的に舍人皇子が皇族代表として藤原氏と調整し結論を得た。



縫殿女需要高まる

天皇陛下は即位の際、国家繁栄のため女は機織りをよく治めるよう人民に詔された。機織りの技術を学ばれ各戸の財産も増える。技術が高いものは縫殿女として貴族の邸宅から引つ張りだこなつていっている。縫殿女の加原武智麻呂夫人に気が入られ収入が倍増しているという。



注目の書籍

『遊仙窟』

遊仙窟(作者:張鷟)は言わずと知れた唐の恋愛小説。遣唐使が持ち帰って大流行した。遺唐使に歌い上げたい人向かないので内容的に子供には向かないのである。10月にこの小説を参考に、賀茂女王陛下による「歌詠講座」が作宝樓文化館で行われる。左記の催し欄を参照。

『芸文類聚』

唐代以前の優れた詩文や歌賦が多く収集されておし教養を身に付けるためには必須の類書である。官僚としての出世に必要な幅広い見識を養うためには最適な書物である。

『晏子春秋』

中国春秋時代の斉の宰相、晏子に関する言行録をまとめたものである。努力をして官僚になつたものの宮仕えは大変だ。知識より人間関係をいかにうまく乗り切ることが日々の勝負。特に上司との関係をよりよく築くにはどうしたらよいか。どのよう忠言をすれば相手は聞く耳をもつてくれるのか。この本はその多くのヒントとなる。陛下の怒りかねないリスクから身を守るためにもこの一冊は官吏の必需品である。

人気沸騰中 『羊形硯』

古事記の編纂者、太安万侶氏が愛用しているという羊の形を模した羊形硯が人気だ。特に長屋王邸に出入りしている土師女曾安氏のデザインが人気で入手困難となつている。曾安氏による膳夫王の誕生祝い用にと吉備内親王の命で作つた羊形硯がことのほか愛らなかつた多くの帳内の間で評判になつたということだ。太安万侶氏には今秋に当文化館において千字文をテキストに子供向けの習字講座を開く予定。大学入学を希望する下位貴族の子弟にも最適。



参河国で地震

5月26日、参河国で地震があり正倉47棟が倒壊し、民家の多くも陥没する被害があつた。

作宝樓文化館の催し

料理講座

「甘葛煎の作り方」
水には欠かせない甘葛煎を作ります。
講師：四比信紗
場所：作宝樓文化館
日程：10月己酉日
予約は不要です。調理用のツタを採集し持参してください。

「歌詠み講座」全4回

講師：賀茂女王殿下
場所：作宝樓文化館
申込締切日：10月朔日
お問い合わせ：作宝樓政所
小説「遊仙窟」をお持ちでない方は芸亭で写してください。
*11月は陰陽師韓國広足氏による古い講座を予定

お問い合わせ → sahoromandokoro@gmail.com

連載 倉橋部女王日記 ①

この日記を手に入れたのは偶然だった。その内容は夢かうつつか分からない。ただ非常に興味深い話なので、朕一人で楽しむより多くの人に目に触れる価値があると考えた。

わたしがこの世界に来てすでに十日が過ぎた。陽が昇り一日が始まり、日が落ちて一日が終わる。その繰り返しは、この世界も以前の世界も同じだ。でも、このままたこの世界で生き続けることは考えられない。あまりにすべてが違いくさる。興味はあるけれど人生すべてをこの世界にささげることができない。

あれは十日前。わたしは頭に軽い痛みを覚えて目が覚めた。目覚めた場所は見たこともない古い屋敷の部屋の中だった。木製のベッドには薄い布が引いてあるだけで全身が痛い。頭には包帯が巻かれてあり着物の様なものを身に纏つていた。ベッドから降りると周囲を観察した。すべてが木製で古臭い感じがした。観察した机があり金属製の丸くて薄い円盤の様なものが立てかけてあつた。裏側には鳥や花の文様が施されている。教科書で見た昔の鏡のようだ。わたしは夢見てるんだわ、絶対。

目覚めれば元通りのはずよ。

私は柱に寄りかかり目を閉じた。

「女王さま！目覚めましたか。だれかおるか、だれか！」

突然若い女が部屋に入ってきて私を見るなり大きな声で叫んだ。

「大きな声を出さないで。頭が痛い。」

私がそういうと、その若い女は私のそばに近づき体を支えてくれた。

「女王さま。急に動いてはなりません。」

若い女は私を支えながら椅子に座らせた。

「ここはどこ？病院？」私が尋ねると、

「ここは女王様のお部屋です。」

女王様？私の部屋？どういうこと。

「ここ古代のテーマパーク？なによこの服。」

わたしは若い女の腕を取った。

「いったいここはどこだよ！」

「どこかは。右大臣のお部屋です。」

「右大臣っていつの時代だよ。」

「いいえ、いまは午の刻を過ぎた頃かと。」

若い女は困り果てた様子で後ずさりした。

ウダイジンに混入のノックって？

わたしは完全に混乱してた。

「あなた誰よ？」

「あ、わたしは奈良女です。女王様。」

「ナラメ？じゃ、私の名前はなに？」

「奈良女という女は泣きだしそうになつていて、すると背後から凍とした声が響いた。」

「ここは右大臣藤原不比等の屋敷ですよ。」

振り向くと、そこには美しい女が立っていた。

「そしてあなたの名前は倉橋部です。」

「あなたはだれ？」わたしがつぶやくと、

「わたしは長城子。あなたの母親です。」

これがわたしのこの世界の一日目だった。

広告欄

染女募集 (熟練工優遇)
遣唐使向け千袷製製造
週6日日出〜申刻
長屋王邸 担当:多々女

運送雇人
雇車経験者優遇
週6日日出〜日没
越田屋西市店
担当:縄万呂

求人

経師急募
写経経験者優遇
週6日日出〜未刻
水主皇女邸
担当:出雲御立

菊花酒のご案内

金谷の室

9月9日の重陽の節句が近づいてまいりました。邪気を払い長寿を願う菊の花と菊花酒は欠かせません。作宝樓では特別に限定20種の菊花酒をご用意しました。飾り用の菊の花もおつけします。ご予約はお早めに。

一升 8文

暮らしに笑顔
長屋逸品

一束

おひとり様2束限り

1文

長屋王亭西市店お買い得品

唐、皇太子李隆基即位

睿宗が讓位 開元の治はじまる

遣唐使再開へ

昨年未入京した新羅使金元静氏により唐の最新政治情勢が明らかとなった。唐では開元二年(西暦七十四年)皇太子李隆基が即位し開元の治が始まった。新皇帝は宗教法人資格の見直しや税制改革として節度使の導入などを積極的に行っている。我が国は大宝二年(七〇二年)の遣唐使以降、唐との直接的な交流が絶え大陸の情報も新羅使にたよっている。この深刻な状況を打開するためには一刻も早く遣唐使を再開するべきだとして陛下および議政官の意見が一致し今年度中にも遣唐使の再行を行うことを確認した。新羅使金元静氏らは陛下より真綿五千四百五十斤と船一艘を賜り3月23日に帰国の途に就いている。

4月25日の成選にて正三位に叙せられた粟田朝臣真人氏が遣唐使選考委員会委員長に任命された。同氏は、先の白雉4年(六五三年)の遣唐使船に留学僧として随行し唐で字問を修め、帰国後選俗して朝廷に仕え大宝の遣唐使では執節使として唐に再度渡った経験豊富な事情通である。

新羅使金元静氏によると、大宝の遣唐使船で唐に渡った僧弁正が唐の新皇帝(李隆基)に困窮の腕を見込まれ側近として選俗し唐の高級官僚の子女を娶って二人の息子に恵まれているという。

息子達は唐・日本、双方の言葉に通じ非常に聡明だということで粟田朝臣真人氏は今回の遣唐使を通じて弁正親子の帰国を促し唐の最新文化と技術を持ち帰って国際的な見地から我が国の発展に尽くしてもらおうと要請することを検討している。

また同選考委員会副委員長に任命された藤原不比等氏は同氏の三男である藤原宇合氏を推すようである。宇合氏は母方が渡来系の血筋で唐の言葉にも通じ歌も詠み武道にも長けているとのこと。また律令制にも詳しく唐の最新制度を学ぶには最適の人材といえよう。

国・郡司は襟を正せ

一面の5月14日の詔以前に5月1日に陛下より諸国の朝集使に対し勅がでている。その要旨は左記のとおり。

『国司・郡司が公職の地位にありながら私腹を肥やすことばかりに励み、農業を妨げ利を奪い、万民をむさぼるようなことがあればそれはまさに国の害虫にほかならない。』

そこで、国司・郡司を4つの階級に分ける。田畑が荒れ人民が飢え凍えて死にいたる人民が10人を超えるようであればその国司・郡司を「下等」に分類しその職を解任する。』

陛下のお怒りと愛いはいはもつともなことである。国司・郡司は人民を慈しみ、農耕や養蚕を勧め、養い育てる心を持ち、飢えや寒さから救うのが役割である。

今後、国司・郡司を監視するために巡察使を各地に派遣し人民の暮らしを観察させるという勅がでたのは當然の成り行きと言えるだろう。これからは国司・郡司ともに仁徳の政治をおこない、詩経の言葉にある周行の実現をめざし日々精進をしてほしいと思うのは私だけではないだろう。



作宝楼春秋



皇族方ご動静

3月1日 天皇陛下が遷原離宮に行幸された。
7月10日 天皇陛下が遷原離宮に行幸された。

訃報

6月4日 一品長親王殿下薨去。
7月27日 知太政官事一品徳積親王殿下薨去。
7月27日 天武天皇の第五皇子

勅

2月25日 三品吉備内親王殿下の子女を全て皇孫扱いとする。

扁鵲印

続命湯

中風やしびれによく効きます

帰芍皮黄膏
芳川桂麻石

飛鳥薬屋平城宮店
右京八条西二坊大路

今月のことわざ

『衣食足りて礼節を知る』

出典 管子・牧民

原文 倉廩実則知礼節、衣食足則知荣辱

意味

生活にゆとりができてこそ、礼儀や節度をわきまえるようになる。政治の要は国民のゆとりある生活にあるというたとえ。

今月の一首 長皇子

秋さらば今も見るごと妻恋ひに
鹿鳴かむ山そ高野原の上

意味

秋になればご覧のように妻を恋う鹿の鳴き声が聞こえる山なのです。この高野原の上は、今頃は6月4日に薨じた長皇子の歌を追悼のため取り上げました。

《第五回天皇杯投壺大会開幕》

スポーツ



八世紀枠に隼人・蝦夷

投壺は春秋左氏伝にも記載された伝統のあるゲームである。「礼記」および「大戴礼記」の投壺篇に記載された儀礼。壺と矢の寸法、席から壺までの距離などの規定を厳守し大会は開幕した。

今年隼人と蝦夷が8世紀枠として参加が許されている。各地域から選りすぐりの精鋭が上京しそれぞれの国の宿舎で調整をしている。予選は今月下旬から始まり、決勝は9月中旬に陛下をお迎えし松林苑でとりおこなわれる。なお優勝チームには陛下より純六疋、絹糸六約、麻布十疋を賜る。



今回の見どころは正七位上の大野朝臣東人(平城京ブルック)だ。同氏は若いながらも武人として名をあげており、昨年末には騎兵一七〇騎を率いて新羅使の入京を迎える任を果した。

民部省後援
作宝楼観光主催

マクワウリ狩り

☆参加者募集☆

高級甘味の代表
マクワウリの季節となりまして。平城京近郊でもたわわに実っています。美味しいマクワウリを自分で収穫しませんか。ご家族、お友達、ご同僚などお誘いあわせの上ご参加ください。

日程：8月毎週土日
集合：羅生門前 辰の刻
参加費：6文(子供3文)

徒歩にて農園へ移動し各自収穫して食します。間食は各自用意してください。未の刻に羅生門へ戻り解散します。ひとりマクワウリ5個をお土産にお渡します。

お申込みは作宝楼観光までご連絡ください。長屋王亭西市店でもお申し込みを受け付けています。担当：新田部形見まで

(広告のご用命は作宝楼広告社までお気軽に) 広告欄

皇族御用達 本家越田屋

平城遷都以来
あつもの『糞』一筋

左京九条東四坊大路 越田池ほとり
平城京内は無料で配達いたします

田原ナチュラルファーム

大和高原のお茶 『ゆい』

新茶のご案内

今年の緑茶できました。農薬・除草剤・化学肥料を一切使用せず自然に寄り添って育てた美味しいお茶です。古事記を編纂した太安万侶氏が自身の墓所と定めた田原地区に茶畑はあり、それにちなんで硯と筆をデザインしたパッケージに一新しました。

40g → 430円
100g → 850円
150g → 1150円

TEL: 090-9994-3298
<http://tawarafarm.exblog.jp/>

オーガニックマーケットに出店しています- 毎月最終日曜午前 JR奈良駅前 全国発送承り中 (送料別途)

第12回歌垣の夕べ

日時：9月朔日
時間：申の刻～日没
場所：朱雀門前広場

素敵な出会いが待っています。まずは勇気をだしてご参加ください。

予約不要[雨天順延]
お問い合わせ
歌垣実行委員会 (東市内)